

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室そらまめキッズ谷山		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 13日		R7年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	R7年 11月 13日		R7年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種の専門スタッフが在籍しており、様々な視点からアセスメントを行うことで、適切な支援につなげることができています。	・スタッフ間で研修を行い、知識の共有と共通理解を図るとともに、それを保護者や他機関にも伝える工夫を行っています。	・支援内容や現在の課題を共有する機会を増やし、スタッフ間の連携を深めるとともに、意見交換しやすい職場作りに取り組んでいます。
2	・個別支援だけでなく、ねらいに応じて複数名での支援を取り入れ、より効果的な支援が提供できるようにしています。	・必要な支援を個別で提供するとともに、やりとりやコミュニケーションを重視した支援を行い、日常生活に即した場面へとつなげています。	・複数名での活動においても一人ひとりのねらいを明確にし、個々に応じた適切なアプローチが行えるように工夫していきます。
3	・相談支援や子育てサポートを通じて、家庭との連携を図っています。	・毎月の事業所内相談を通じて、最近の様子や困りごとを丁寧に聞き取っています。 ・支援見学の声かけや支援後のフィードバックを行うなどして、相談しやすく支援の様子が伝わる体制を整えています。	支援見学の機会を更に充実させ、事業所での関わりが家庭や学校など日常場面へ般化できるよう支援していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・併用している関係機関との情報共有や連携が十分とは言えない面があります。	・双方が保育・支援を行っている時間帯が重なり、見学や情報共有の機会を十分に確保しにくい状況があります。	・電話での連絡や情報共有の機会を増やし、支援内容や子どもの様子を相互に共有できる体制づくりを検討しています。
2	・PECS(絵カード交換式コミュニケーション)の使用について、家庭や地域での般化が十分に進んでいない状況があります。	家庭や地域での活用方法を共有する機会が少なく、継続的なフォロー体制が十分でない状況です。	・家庭や関係機関への説明や助言を行い、日常生活の中で活用できるよう支援方法の共有を進めています。
3	・施設の老朽化により、設備面で改善が必要な部分があります。	・安全な運営には問題ありませんが、開設から年数が経過しており、修繕や設備更新が十分に行えていない状況です。	・日常的な清掃を心掛けるとともに、危険箇所を把握し、安全面への配慮を徹底しています。